

# 平成30年度第2回青梅市協働事業市民推進委員会議事録

平成30年7月19日

市役所502会議室

午後1時30分～

出席委員6名 欠席委員4名

## 1 あいさつ

市民安全部長

委員長

## 2 報告事項

### (1) 平成30年度市民提案協働事業審査結果について(資料1)

事務局より採択結果と各事業の進ちよく状況報告。

委員長：何か質問はございますか。

委員：提案する側から、初めて審査員として参加しました。事業を実施する立場としても考えてしまうので、厳しくなってしまったかと思う。多くの方に予算ありきでなく、提案協働事業を有効に使用していただきたい。

委員：公開であることは大事だと思う。

委員：どの団体もプレゼンが上手であった。

事務局：ある団体から「審査員に提案団体関係者がいて審査は公平なのか」との意見があった。関係団体の審査からは除外し、審査は公平に行われていることを、当日説明をしなかった。HPには各審査員の審査対象事業を掲載したが、次回からは審査員席から席をはずすなど、誤解を与えないようにしたい。

## 3 協議事項

### (1) 平成29年度協働事業の評価について(資料2-1、資料2-2、資料2-3)

事務局より報告

### (2) その他

委員長：次回委員会までに協働事業の意見をいただきたいが、何かございますか。

委員：青梅市民センターの新規のサークル共催講座、センターにやる気のある方がいるのだなと感じた。センターの人によって違うと思う。

課題としての形骸化も、地域の位置付け、市民センターはどうあるべきか企画を考える人がいるとよい。

委員：市民センターに格差はあるか？

事務局：地域性はあるかと思う。郊外と市街地（中心地）は異なる。

委員：運営協議会の委員の構成は？

事務局：地域自治会の委員や利用団体等からの推薦と公募からなる。

委員長：団体の高齢化、人員不足について、ボランティアセンターからは何かありますか？

委員：市民団体の高齢化と後継者がいない。講習会を開いて新規加入者を募集している団体もあるが、解散はある。子育て、介護等で休会する団体もある。

委員：子育てが終わると介護にと、人手不足で今までしていたことができずボランティアとして活動していけない。

いろいろな市民センターを利用しているが、市民センターによって対応がちがう。

事務局：人が違うと対応が違うで片づけてはいけない、基本的には同じ対応をしたい。所長会で伝えていきたい。今までなかった係員レベルの担当者会議をここで始める予定もあるので、統一した対応となるよう努力したい。

委員：プラットカフェのような意見を言える場がよい。地域として考える。町のことを考える。意見を集めることができればいい。地域で、やりたいことをどこに言えばいいか分からず、うちの団体に相談に来た人がいる。地域の声を取り入れる場が必要では？

委員：ボランティアセンターに地域で見守りをしたいという相談があった。

委員：市民センター運営協議会を公開にして行くとよいのでは？

事務局：発表はしていないが、公開です。

委員：市民センターだよりでお知らせするなど、やり方はあると思う。

事務局：前回まとめた29年度の委員会の意見文書に、協働事業の評価に関する意見等1月の第3回委員会でまとめて、1月に開催される推進会議へ提出する案でいかがでしょうか。

委員長：宿題となりますが、11月に意見整理し、1月の推進会議に提出する予定としたい。可能であれば、推進会議の場に提出に行く予定とします。

事務局：評価シートについて質問等あればお問い合わせください。

閉会